

## 目の前に立ちはだかった大きな壁

ある日、(社)セカンドハンドの学生部「小指会」のもとに朗報が届いた。カンボジアの首都プノンペン郊外にあるスラム地区・センソックに住む、テリーとピセイという少女たちの大学進学を伝える知らせだ。二人はセカンドハンドの活動に参加する大学生・高校生が結成した「小指会」の支援を受ける奨学生。成績優秀でありながら貧しくて学校に通えない学生に奨学金が提供されている。その中には学費や制服代、英語やコンピューターを学ぶための費用が含まれ、現在、14人の高校生が対象となっている。

「カンボジアでは大学に進学できる子どもはほんのわずかです。それもほとんどが男子で、女性は家庭にいるべきだという考えが今も根強く残っています」(セカンドハンド事務局・後藤尚子さん)

それだけに、センソックの二人が大学へ進むことは「ものすごいこと」。奨

「奨学生の数を絞ろうかという話も出ました。しかし、それだけではどうしても避けたい。学生たちは責任を強く感じていたのです。小指会にとってカンボジアの学生たちは、支援の対象というよりもかけがえない仲間なんです」

そんな窮状を救ったのがJICA基金。物価の急騰分に充てられたのだ。

## いつか高く飛ぶ夢を見た

小指会では、アイデアを持ち寄り、募金活動やバザーなどのイベントを企画・実施するなど、奨学金を100%自分たちの手で集める。毎年恒例の「国際協力ステージ」もその一つだ。大正琴、手品、阿波踊り、カラオケ、ダンス、吟詠など、学生たちが高松市内のカルチャーセンターなどを回って出演者を募集。一人3000円(入場券6枚分)を払って出演してもらい、観客からは入

# カンボジアの学生から日本へ 生きる力の贈り物

香川県高松市を拠点に、1994年からカンボジアへの協力を続けている(社)セカンドハンド。その中の学生メンバーが結成したセカンドハンド学生部「小指会」は、カンボジアの子どもたちの笑顔のために、教育支援を続けている。



奨学生から授業を受ける地域の子供たち。援助に依存するだけでなく、助け合い、支え合うことの意味を奨学生たちが考えてもらうのが目的

場料として500円を徴収。それらの収益が奨学金に充てられるという仕組みだ。幕間には支援先の様子を学生たちが発表する。「国際協力ステージ」は、カンボジアへの思いを多くの人々と共有するためのイベントでもあるのだ。

日本の学生がスタディツアーでカンボジアを訪れることもある。奨学生の家にホームステイし、そこで家族の大切さを体感しながら、幸せとは何かを考えるのだという。こうした日本とカンボジアの学生たちの交流は、

その後もビデオレターの交換などを通して続いていく。

小指会の良き相談相手である後藤さんは、「一方的な支援ではなく、同世代が互いに刺激し合うことで、何か大きな力を得ているように思います」と話

す。日本の学生たちが、生きていくための大切な力をカンボジアの若者たちからもらっているのだ。

テリーは、15歳の時にセカンドハンドの招きで来日したことがある。

「小さいころは、学校に行けるのか、食べ物はあるのか、それが一番の心配事でした。外国に行けるなんてかなう



来日時に香川県内の高校の授業に参加するテリー(右)

セカンドハンドの活動の様子や団体の詳細は、ホームページでご覧いただけます。http://2nd-hand.main.jp/

学生の中から大学進学者が出たのは初めてだ。後藤さんと小指会のメンバーはその喜びをかみしめる。

小指会は、国際協力を通して学生たちに多くのことを学んでもらおうとセカンドハンドが2005年に設立。これまで、奨学金による支援以外にも中学や高校の校舎の建設にも取り組んできた。しかし08年、小指会は大きな壁に直面する。カンボジア国内での物価急騰だ。食料品が3倍、ひどいところでは50倍にまで高騰した地域もある。一人当たり年間100ドル(約1万円)の支援では足りず、4、6倍もの資金が必要となった。緊急事態に後藤さんも参加して何度も話し合いを重ねた。

「このない夢だと思っていました。空を飛んだらどんな気持ちがあるのかな、そんなことを考えながら飛行機を見上げていました」

日本の友達と交流できたことを喜び、感謝する気持ちを綴った文章の一部だ。テリーは19歳。医師になることを夢見て、大学で勉強に励んでいる。

「貧困自体が不幸なのではありません。貧しくして病気を治せない、学校に行きたいけど行けないというように、貧困のために人間の可能性が閉ざされてしまうことが不幸なのだと思います」

セカンドハンドの創設者、新田恭子さんの言葉だ。小指会に集う日本の学生たちは今、支援を通して「可能性」の扉をゆつくりと、そして確実に開いている。



小指会の支援で建設された学校。校舎には「KOYUBIKAI」のマークが刻まれている



小指会の活動に賛同し、募金活動に参加する学生たち

## あなたの小さな一歩から始まる国際協力 世界の人のためのJICA基金

JICAでは、国際協力に関心のある日本の皆さまからの寄付を、開発途上国の貧困削減や環境保全への取り組みに活用する「世界の人のためのJICA基金」で受け付けています。皆さまのご支援をお待ちしております。

### 寄付金の使われ方

お寄せいただいた寄付金は、途上国の貧困削減、医療や教育の提供、環境問題の解決などに取り組むNGOの活動に充てられます。各支援活動や寄付金事業収支についてのご報告は、「JICA寄付サイト」で公表します。

### 寄付の方法

「JICA寄付サイト」からお申し込み下さい。クレジットカードによる決済や、銀行・郵便振込みなどがお使いいただけます。  
JICA寄付サイトURL: <http://www.kifu.jica.go.jp/>